

事業番号

2023 - 文科 - 新23 - 0179

令和5年度行政事業レビューシート			(文部科学省)				
事業名	質の高い臨床教育・研究の確保事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	令和7年度	担当課室	医学教育課	医学教育課長 俵 幸嗣	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する 計画、通知等	新しい資本主義実行計画等『フォローアップ』(令和4年6月7日 閣議決定)			
政策	4 個性が輝く高等教育の振興		主要経費	教育振興助成費			
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	診療参加型臨床実習の充実や保健分野における研究の質の向上等の課題に対応するため、大学・大学病院における、より効率的で質の高い臨床教育・研究実施のための新たな体制を構築する優れた取組を支援し、これを持続的な業務改善につなげることで、医師の働き方改革に貢献する。						
現状・課題 (5行程度以内)	令和3年5月の医師法等改正により、医学生等が臨床実習開始前に受ける共用試験が令和5年度から公的化されることを受けて、学生が医業を行う診療参加型臨床実習の実現が求められている。 一方、近年、我が国は国際社会における研究実績の相対的低下が指摘されており、大学病院等保健分野の大学等教員については、職務の中で研究を行う時間の割合が大幅に減少していることから、研究実績向上のため、研究時間を確保し研究の質を高めることが必要。 このような中、令和6年4月から、労働基準法等に基づく時間外・休日労働時間の上限が医師にも適用されることとなり、大学病院で勤務する医師は、教育・研究の充実を図るとともに、労働時間の短縮に取り組むことが求められている。						
事業概要 (5行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> 本事業に従事する教員や教育研究支援人材を確保し組織体制の整備・強化を図る。 診療参加型臨床実習の充実に向けた取組(例:医学生が実施する医行為の増加、患者の同意取得促進や学外実習施設拡大などによる症例数確保、指導医向け研修など安全管理体制の強化、指導医の負担軽減のための教材開発や指導体制の見直し等)及び質の高い臨床研究の確保に向けた取組(例:研究支援者向け教材の作成、研究支援人材のより効率的な配置方法の工夫、臨床研究におけるデジタル化の推進等)を実施する。 本事業で作成・開発した教材やコンテンツ等について他大学等への普及を図る。 						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/2022001_00007.htm						
実施方法	補助						
補助率等	【補助率:定額補助】						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	120.8	120.6
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	120.8	120.6
		執行額(G)	-	-	-	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	高等教育振興費	-	-	-		
	(目)	大学改革推進等補助金	120	120	-		
	(目)	諸謝金	0.70	0.10	-		
	(目)	委員等旅費	0.10	0.30	-		
	(目)	庁費	0.01	-	-		
	(目)	職員旅費	-	0.20	-		
	その他	-	-	-			
	計(A)	120.8	120.6	-			

活動内容① (アクティビティ)	選定大学を対象に、診療参加型臨床実習の充実に向けた取組及び質の高い臨床研究の確保に向けた取組を支援する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	診療参加型臨床実習指導体制の構築、環境整備及び臨床研究支援体制の構築、強化	本事業におけるモデル構築大学数(補助件数)	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	4	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	本事業は、プログラムに従事する教員や教育研究支援人材を確保し組織体制の整備・強化を図り、診療参加型臨床実習の充実や質の高い臨床研究の確保に向けた先導的な大学・大学病院モデルを構築する事業であるため、本事業で創出する成果物の作成件数を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度		
	診療参加型臨床実習の充実又は質の高い臨床研究の確保に向けた教材やコンテンツ等の作成	診療参加型臨床実習の充実又は質の高い臨床研究の確保に向けた教材やコンテンツ等の作成件数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	4		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	質の高い臨床教育・研究の確保事業 事業計画書、取組状況調査等									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	本事業で整備・強化した組織体制や作成した教材やコンテンツ等により、診療参加型臨床実習の充実や質の高い臨床研究の確保を推進するため、学生が経験する医行為数の増加や臨床研究支援件数の増加を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度		
	選定大学における学生が経験する医行為数の増加	学生が経験する医行為数が増加した大学の数	成果実績	%	-	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-	4		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	選定大学決定後、選定大学が提出する事業計画書を基に目標値を設定する。 質の高い臨床教育・研究の確保事業 事業計画書、取組状況調査等									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容② (アクティビティ)		【再掲】選定大学を対象に、診療参加型臨床実習の充実に向けた取組及び質の高い臨床研究の確保に向けた取組を支援する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		【再掲】診療参加型臨床実習指導体制の構築、環境整備及び臨床研究支援体制の構築、強化	【再掲】本事業におけるモデル構築大学数(補助件数)	活動実績	件	-	-	-	-	-
				当初見込み	件	-	-	-	4	-
↓		成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		【再掲】本事業は、プログラムに従事する教員や教育研究支援人材を確保し組織体制の整備・強化を図り、診療参加型臨床実習の充実や質の高い臨床研究の確保に向けた先導的な大学・大学病院モデルを構築する事業であるため、本事業で創出する成果物の作成件数を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		【再掲】診療参加型臨床実習の充実又は質の高い臨床研究の確保に向けた教材やコンテンツ等の作成	【再掲】診療参加型臨床実習の充実又は質の高い臨床研究の確保に向けた教材やコンテンツ等の作成件数	成果実績	件	-	-	-	-	
				目標値	件	-	-	-	4	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		質の高い臨床教育・研究の確保事業 事業計画書、取組状況調査等								
↓		成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		【再掲】本事業で整備・強化した組織体制や作成した教材やコンテンツ等により、診療参加型臨床実習の充実や質の高い臨床研究の確保を推進するため、学生が経験する医行為数の増加や臨床研究支援件数の増加を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		本事業で構築、強化した体制による臨床研究支援件数の増加	臨床研究支援件数(新規+継続)	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	241	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		質の高い臨床教育・研究の確保事業 事業計画書、取組状況調査等								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称									
	URL									
	該当箇所									

事業所管部局による点検・改善	
点検結果	<p>・本事業は、新しい資本主義実行計画等『フォローアップ』においてその必要性が明記されるなど、政策の優先度が高い事業である。</p> <p>・補助金の交付に当たっては、事業経費の費目・用途の内容について厳正に確認を行うなど、効果的、効率的な執行の観点からコスト削減に努める。</p>
改善の方向性	<p>アクティビティ①②について、目標年度に向けて取り組む。事業終了後には事後評価を実施し本事業の成果の把握や普及に努める。</p>
外部有識者の所見	
外部有識者による点検対象外	
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	
	<p>本事業は、令和5年度に開始した事業のため、アウトプット・アウトカムで設定した指標に基づく活動実績を確認するなどして事業の実施状況を確認しつつ、引き続き事業の着実な実施及び適切な予算執行に努めること。</p>
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	
縮減	<p>引き続き効率的な執行に努めるとともに、成果指標の達成にむけて取り組んでいく。また事業の一部精査を行って、令和6年度概算要求に▲0.3百万円を反映した。</p>
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ
	上記への対応状況
	その他の指摘事項
	上記への対応状況
	備考
関連する過去のレビューシートの実業番号	
平成23年度	-
平成24年度	-
平成25年度	-
平成26年度	-
平成27年度	-
平成28年度	-
平成29年度	-
平成30年度	-
令和元年度	
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	2022 文科 新23 0011

文部科学省
(120.8百万円)

謝金:0.7百万円
委員等旅費:0.1百万円
庁費:0.01百万円
を含む

対象大学から申請のあった事業内容を審査の上、支援対象とする取組を選定し、補助金を交付する。



【補助金等交付】

A.大学(4大学)
(120百万円)

診療参加型臨床実習の充実に向けた取組及び質の高い臨床研究の確保に向けた取組を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)